

クロスドメインのiFrame内にあるエレメントに基づいたSWTの自動再生

問題

サイトがクロスドメインのiFrameを利用している場合、お客様はクロスドメインのiFrame内にあるエレメントに基づいてSmart Walk-Thruを自動再生したいと考える場合があります。この設定を行うには、以下の情報を参考にしてください。

ソリューション

クロスドメインのiFrame内にあるエレメントに基づいてSmart Walk-Thruを自動再生するよう設定を行うには、いくつかの注意点があります。

クロスドメインのiFrameではiFrame jQueryを使用することはできません。

Snippetまたは拡張機能を利用しているかどうかにかかわらず、クロスドメインのiFrame内にWalkMeが注入されていることを確認する必要があります。

上記が確認できたら、以下の手順に従ってSmart Walk-Thruの設定を行います。

Smart Walk-Thruを作成し、最初のステップで指定したいクロスドメインのiFrame内にあるエレメントを選択します。

上記のステップでエレメントを選択すると、最初のステップとして「フレームに切り替え」が自動作成されます。

「**Initiators**（イニシエーター）」の下にある自動再生ルールに移動し、表示されているクロスドメインのiFrame内にある「**On-Screen Element**（画面上エレメント）」に基づいてルールを作成します。

注：クロスドメインのiFrame内にエレメントがあるため「Rules Engine」はFalseと評価されますが、プレビューすると期待通りに再生されます。